

## 伝統文化に～触れる落語 発表会～



2026年3月14日

ぞう組5歳児

今日は、卒園式です。卒園式の後、保護者の方に、練習した落語を見ていただく日です。子ども達は、1月に初めて落語を見てから、お手紙を書く所作や、蕎麦をすする所作、じゅげむ寿限無を暗唱するなどそれぞれの子がやりたいことを練習し、落語に取り組んできました。めくりの文字を太筆で書くことも練習しました。事前の落語家にご指導もあり、当日はみんな大きな声で、始まりと終わりにお辞儀をすることも忘れずに、発表できました。当日の発表の時には、浴衣を着て、座布団の上に座って、まずは格好からそのつもりになって落語の発表をしました。1人で発表することが難しい子どものために、2、3人で唱えをすることも考えて、舞台は用意しました。カメラを構えた保護者の方々からは、大きな拍手をいただき、嬉しそうにしていた子ども達です。これが子ども達の自信になればと思います。

### 環境準備物

浴衣14枚、座布団3枚、高座用机2台、緋毛氈、めくり、扇子14本、手ぬぐい3枚

### 子どもの活動

担任が、落語に取り組んだ経緯を保護者に説明し、幕があがりました。  
舞台では、浴衣に着替えた子ども達が、3人ずつ舞台の高座の上に上がり、練習した落語を保護者に披露しました。緊張して声が小さくなるかと心配しましたが、みんな大きな声で発表できました。子ども達は、一人ずつ今から自分が何をするのかを言ってから、演目を発表しました。例えば、「今からおそばを食べます」とか、「じゅげむを言います」といいました。保護者の見守る中、舞台の上に配置した高座の座布団の上に3人が座り、落語の所作や長い「じゅげむ寿限無」をつまずくことなく発表できました。手紙を書く所作をしながら子ども

達が「おかあさん、いつもありがとう」とか、「おとうさん、大好きだよ」と手紙の内容を声に出して言いました。

### 子どもの様子

卒園式の正装から浴衣に着替えて、少し緊張がほぐれた様子の子ども達。再び保護者の方々の待っている舞台袖に並び発表する順番を待ちました。いつも賑やかな子ども達ですが、程よい緊張もあり、保護者の方に見てもらうことを、ドキドキワクワクして期待と緊張の混ざり合った気持ちで、高座に上がって発表していました。保護者と職員から大きな拍手をもらおうと嬉しそうにしていた子ども達です。

子ども達からは、「緊張した」「楽しかった」という感想が一番多かったです。

### 活動の振り返り

1月に落語を初めて体験して、たくさん笑って楽しい体験をした子ども達が、いよいよ保護者の前で発表会をする時が来ました。人前で発表することが苦手な子ども達も、一人ずつ高座の座布団の上にすわり、立派に落語の一部を大きな声で演じることができました。何より、保護者の皆様から大きな拍手をいただいたことが、一番うれしいことだったと思います。これから、こんなことした、できた、と子ども達の自信につながれば嬉しいです。

当日発表のほかにも、めくりを書きました。めくりを墨と筆で書く前に、子ども達は、筆で字を書いたことがなかったので、筆の持ち方、墨のつけ方、線の引き方を学びました。なかなかうまく筆で字を書けない子どもがたくさんいました。発表の脇役、めくり書きも自分たちで書く体験をしました。自分で書いためくりは、後日、家に持って帰りました。みんな、上手に書けていました。中には、漢字で書いた子どもがいました。



